

中島磯あそび探検

平成19年6月24日（日）10：00～16：00

金本 自由生（沿岸環境科学研究センター生態系解析分野助手）
大西 秀次郎（NPO水域生態系保全協会）



中島までフェリーで渡るため高浜港に集合しました。三津浜港からも乗船できますが、交通の便がよく、駐車場も広いので高浜港から出発します。10:25に高浜港発のフェリーに乗船後、中島まで船旅を楽しみます。早速、講師の大西さんから今日の生き物についてレクチャーを受けている家族もありました。

中島に到着後、バスで大串海水浴場へ移動します。12時少し前に大串キャンプ場に到着し、講師・アシスタントでグループに分かれました。その後、「九兵衛小島」へ渡ります。潮が引いていて満ちてくる直前の時間帯でした。急いで小島に渡り、見つけた生き物を採集します。



干潮時間が過ぎてしまっていたので、徐々に道が水没していきました。12時を過ぎた頃には戻らなくてはなりません。次は防波堤の岩壁や隙間を探してみます。



イシガニ

アラレタマキビ

いろいろな生き物を見つけては講師やアシスタントに教えてもらいます。見つけた生き物は見やすいようにタッパーに入れたりバケツに入れて観察しました。

ヒライソガニやムラサキガイなど、今日の資料に載せてあった生き物たちがほとんど見つかりました。

ヒライソガニ



ムラサキガイ



マガキ



ウノアシ



キサゴ



いろいろな生き物が見つかったので、観察会が短く感じられました。バスで大浦港へ戻る途中で、講師の大西さんが「今日、帰りの船で、もしかしたらスナメリが見られるかもしれないよ。じっくり海面を観察してみてください。」と良いことを教えてくれました。時々スナメリが港周辺に遊びに来るそうです。

大浦港を出航後、甲板で水面を観察していると、「イルカがいる！」という子どもの声で水面に注目します。一瞬でしたが船の横をスナメリが泳いでいました。あっという間で写真を撮る時間がありませんでした。大西さんによると、実際にスナメリを目撃できる確率は3回に1回ぐらいらしいのですが、真横にまで来て見られるのは珍しいそうです。今回は運よく見る事ができました。

まとめ

今日は雨の予報でしたが、観察会終了まで降らずにすみました。ずぶ濡れになった人も居ましたが、着替えを用意してもらっていたので良かったです。今回もケガ無く観察会を終えることが出来ました。